

新宿区民会議＜第4分科会会議録＞

名 称	第13回 第4分科会議事録	場 所	新宿区役所第一分庁舎7階 研修室
日 時	平成17年12月23日 午後13時30分～午後15時30分	記録者	学生補助員 山口洗輝、三好加奈子
		区担当	企画政策課 熊澤
出席者：39名 (区民委員：32名 学識委員：2名 区職員：5名 傍聴：0名)			
<p>■配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第13回 第4分科会会議進行次第 ・第12回 第4分科会議事録 ・中間報告会WG第2回まとめ <p>■会議内容</p> <p>[発言者]●：区民委員 ◎：学識委員 ○：区職員</p> <p>1、開会</p> <p>○：皆さんこんにちは。これから第13回、第4分科会の会議を始めたいと思います。はじめに今日お配りした資料ですが、本日の会議進行次第、それから前回の会議概要の2種類をお配りしました。お手元がない方は事務局の方までお伝えください。次に進行についてですが、まず本日の議事に入りまして、(1)中間発表会の第2回WGの報告について、です。(2)前回の分科会で整理したものをまとめる作業を班長会議で行いました。その班長会議の報告です。また、それを踏まえて(3)中間発表会に向けた第4分科会での整理を再度行います。それから事務局からの連絡を行いまして、閉会とします。概ね本日は15時40分を目途に進めていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。</p> <p>それでは会議進行次第に沿いまして、進めていきたいと思います。最初に、中間発表会第2回WGの報告について、メンバーの方、よろしくお願い致します。</p> <p>2、本日の議事</p> <p>(1) 中間発表会第2回WGの報告について (その1)</p> <p>●：こんにちは。12/12に第2回のWGが行われました。簡単にご説明させていただきます。班長会議で少し詳しく説明しておりますので、詳細については各班で話ができると思います。一つ目が中間発表会の開催の目的ということで話し合いました。①区民会議の提案書作成に向けて中間発表の場として開催するということ、②他の分科会の検討状況を知って今後の参考にするということ、③区民会議参加者以外からの意見を収集する場とすること。以上の3点は決まっておりましたけども、残りの他の分科会とのコミュニケーションを図る場にする、ということを皆さんと話し合いました。これを入れましょうということで、いま申し上げた4つの目的を決定いたしました。</p> <p>それから、当日の中間発表会の進行のイメージということでお話をしまして、大まか</p>			

に言いますと、第1部と第2部に分けましょうということになっております。第1部が、6個ある各分科会が1分科会20分程度で発表を行う。全部の発表が終わった後に、学識委員の先生方の中からお一人に、発表した各分科会の中身についての講評をしていただく。発表の前に挨拶等がありますが、大まかに言えば、発表と講評が第1部の構成となります。それを概ね午前中に行いまして、その後会場のレイアウト変更を行ったり、昼食をとっていただいたりする時間を30分くらいとりまして、第2部に入ります。第2部は先ほど申しましたような目的の中の、各分科会同士の動きとか参加区民と意見交換を行う場となります。それから、中間発表に対して意見を頂く場ということにもなります。第2部は交流会ということですが、各分科会がブースを設けて、それぞれの分科会のところ区民で参加された方、区民会議の委員の方が、そこに出向いて行って色々な意見交換等をするという形を取るものです。話だけを聞いて第1部で帰ってしまう方もいらっしゃると思定されますので、第1～第6までの各分科会用の箱と、全体に絡むようなお話も出るであろうとのことからもう1つの箱を設け、計7つの箱の準備をします。各分科会のブースの中では責任を持ってどなたかがお答えをしていただくこととなります。回答が困難なものは、後日に回すなど色々な方法はございますけども、いずれにしてもご意見をもらうということで決まりました。

それから、今後も意見収集をできるシステムを作るということについては、第4分科会からも提案をしていますが、それにつきましては、前回のWGの中では特に話し合いをしておりません。それから他へのPRですが、広報紙、HP、チラシ、ポスター等や、区民会議のメンバーから口コミということで、PRを行いましょうということになりました。それから、最後になりますけども、当日の運営のほか当日までの準備がありますが、行政と私たち分科会との役割分担を検討しております。資料がないとわかりにくいと思いますが、後ほどご覧頂ければと思います。次回第3回のWGには第2回のWGで役割分担を大雑把に決めたので、具体的にどこの分科会が、あるいは誰が何を分担するのかを決めていくこととなります。以上です。

●：ここまでで、ご質問等ありましたらお願いをしたいと思います。

(質問なし)

●：なお、当日のスケジュールで、開会は10時からということになっておりますが、スタッフの集合は9時ということに決定しました。

○：申し訳ありません。こちらの不手際で皆様にお配りする資料が不十分でした。現在コピーしていますが、少し時間がかかりそうなので、報告の途中ですが、班長会の報告に移りたいと思います。班長の皆さん、よろしくお願いします。

(1) 班長報告会 (12/19)

●：それでは前回の12/19に行いました班長会議のご報告をさせていただきます。まずいつもの通り、各班の進捗状況の報告ということで、前の分科会以降、何かあった班が報告を

するという事で、美化班が班だけの打ち合わせを行ったということでした。これは、前回の分科会の内容を引き続き検討したというご報告がございました。他の班は特になしということでした。

引き続き、先程報告のありましたWGの報告について行いまして、その次に前回の分科会で話し合った、分科会でのテーマ・まとめを各班から出して頂いて、まとめる作業を行いました。前回、第4分科会全体としてどのようなタイトルでいこうかということでも話し合いましたが、それを6つの班をまとめて一緒にしようということでも色々議論いたしました。しかしながら、実は各班での視点が分散しているというか、言葉的になかなかまとまらない状況になってしまっていて、まず各班で今までやってきたことをきちんと箇条書きにしてまとめようということになりました。今日はその作業を皆様にやっていただきたいと思っています。班長さんがたたき台を作ってくることになっておりますので、それに沿いましてなるべく短い時間で今までやってきたことを、きちんとまとめていただきたいと思っております。それに際しましては、ある班のまとめから出てきた内容なのですが、ハード、ソフト、ハートのバランスを取って、それを横軸で整理する方向性をとっていただきたいということです。ハードに関しましては作り物というか、建物とかそういったものです。ソフトに関しましては、仕組みであるとか、その内容のことをいっております。ハートに関しましては意識であるとか、モラルであるとかそういったものを表現しております。その3つを横軸として整理していくということを頭に入れながら、箇条書きで整理していただきたいということでございます。

(2) 中間発表に向けた第4分科会での整理

◎：皆さんこんにちは。前回の班長会議では4時間近く班長の皆さんとディスカッションさせてもらいまして、先ほど石塚さんにお話して頂いたような内容で、今日は皆さんと相談しようということになりました。その時に、班長の皆さんの中で合意に至ったのは、先程石塚さんからご紹介があった、ハード、ソフト、ハートと、横文字で恐縮ですけども、この言葉でくくってみると、結構皆さんが色々な議論していることについて、緩くくることができるのではないかと、という話になりました。

ハードというのは、先程石塚さんがおっしゃったように、作り物です。例えば、建物もそうですし、公園のことを議論されている方は、公園そのものがハードになるかもしれません。また、いろいろな技術を使って地球温暖化のことを考えている方は、技術によって作られた装置がハードになるかもしれません。あまり難しく考える必要はないのですが、一応そういう整理方法でやってみてはどうかという話になりました。ソフトはそれを動かしていくための仕組みです。例えば一番私たちが思い浮かびやすいのは法律とか、近隣の仲間で作っているルールとか、こうした仕組み自体がソフトになるのではないかと、ということになります。問題はハートです。あまり気持ちだとか、想いだとかということになってしまうと、具体性に欠けてしまうのではないかと議論もありました。先程石塚さんにご紹介いただいたように、私たちの環境に対する意識について、(確か教育のチームだったと思いますが)少しだけ意識レベルを上げていくにはどうしたらよいか、というような議論があったと思います。そういう私たちの環境に関する

意識であるとか、ごみの問題に対する意識とか、主体的な関わり方とか、私たちを中心にした問題をハートといおう、ということで、その3つで緩くくくっていくという話になりました。あまり制限しないで、今まで議論してきたことを、箇条書きに整理しまとめていただくとよいと思います。そうすることで、後で班長会議で整理しやすくなるのではないかと思います。以上、よろしくお願い致します。

○：それでは前回に引き続き各班にワーキングしていただくこととなりますけれども、前回、こちらでお預かりしているものがございますので、皆さん取りに来ていただければと思います。また、新たに必要な事務用品についても、必要な班がありましたら、こちらに取りに来ていただきたいと思います。時間的に、この話し合いは14時40分を目安に進めていただければと思います。40分になりましたら、各班に発表していただくことになろうかと思います。よろしくお願い致します。

(班ごとに話し合い)

◎：余談ですが、先日、大和市役所に行ってまいりました。ご存知だと思うのですが、神奈川県藤沢市の隣にある市として、色々熱心な活動を市民の皆さんがおられるということで、市役所の環境担当の方にお話を伺いました。伺った目的というのは、市民の方が参加して、環境基本計画を作るなどの取り組みをされているかどうかということです。実は環境基本計画自体は、大和市は平成9年ぐらいに作られています。ですから、まだ市民参加だとか、皆さんのように一生懸命かかわっていきこうという動きが起きるか起きないかという頃でしたので、環境基本計画の策定時はそれほど目立ってはいっていない、ということでした。ところが、最近自治基本条例が策定されて、その時はやはり皆さんと同じように市民会議が立ち上がって、熱心に活動されたということです。もう一点、素晴らしいと思ったのは、同市には市民活動課というものがあるそうです。この課というのは、市民から提案がでてきたら、その提案を踏まえて、庁内のどこが担当するかということについて割り振りを行い、議論をして市民と一緒に事業を実施するという課だそうです。全国でも実はこういったことを実施している部署は非常に少なく、おそらく大和市がまだ最初の事例、先駆けで行ってらっしゃるのではないかと思います。やはり市民と行政というと、対立軸が強くなってしまいますけれども、一緒に創っていきこうというものを、行政の方からそうした窓口を創っていらっしゃるという点で、非常に参考になったと思っています。また、環境関連の市民団体が大和市では20団体くらいあるそうで、かなり熱心に活動しているそうです。別に市から要求したわけでもないし、お願いしたわけでもないのですが、自発的にいろいろな活動が生まれて、熱心に行われているということでした。私も少し皆さんの自慢をさせていただいたのですが、「さすがに400人近い人々が集まってやられるのはすごいですね、新宿区の区民会議の皆さんの成功を願っています。」と大和市の方に言われておりますので、ぜひとも中間発表の成功に向けて、がんばっていききたいと思っています。

それでは順番に簡単に結構ですので各班長の皆さん、一言ずつお願いしたいと思います。で

は、出来ている順ということで資源循環の班からお願いします。

- ：よろしくお願いします。私たち資源循環班では、ハード・ソフト・ハートの順で分けてありますが、どちらかというと、ソフト・ハード・ハートという形で、考え方を変えていきたいと思えます。まず、ソフト面で、拡大生産者責任の徹底、これはいずれ法令化していった方がいいのではないか、条例化していった方がいいのではないかということです。

あと、協働のあり方、ごみの排出方法とそれにあった収集方法、これについては、今現在集団回収と拠点回収の2つがありまして、これらのあり方を検討していこうということです。続いてハード面、ハード面では、ゴミを集めて資源化するにあたってのストックヤード、そのほかに拠点の整備、収集する拠点を考えています。また可燃ごみの中継所について、これについてはもっと活用方法があるのではないか、そのようなことについて掘り下げて考えていこうということです。次にハート面についてですけれども、これはごみの捨て方の意識、リサイクルの意識を啓発する方法を考えようということです。最後にグリーン購入についてですけれども、グリーン購入することによって、再資源化されたものをまた消費するということによって資源循環の輪ができて上がるので、これを10年後には皆が楽しくできるように進めていきたいという方向で中間発表していきたいと思えます。以上です。

- ◎：どうもありがとうございました。では緑化班、お願いします。

- ：私ども緑化班では、一つのテーマとして「水と緑と太陽」という言葉を考えました。これにつきましては、何度も何度も聞いたり話したりして、とにかく中央公園をもう少し公園にしようということで考えています。中央公園は特色がありません。その中で、まず源氏物語の植物園を作りたいということ、また、近隣にはホテルなどがいろいろありお客さんもいらっしゃるので、そういう人たちにゆっくり散策に来ていただくためにも、日本庭園がほしいということ、中央公園の整備の案に入れていただきたいと思っています。それから今ある一般の公園ですけれども、大小さまざまな公園があります。今のところ私どもでは、ほとんどハードのことばかりでソフトの方はこれから考えていきたいと思うのですが、まだまとめをしておりません。これは区の方が大きな問題として絡んできますので、最終的なところまでにはまとめたいと思えますけれども、この一般の公園の中には、子供たちがお母さんと一緒に安心して遊べるような場所、特色ある場所、また、ペット専用のものがあまりございません。ですから、新宿区内のいくつかの公園のように、一箇所でもペット専用の公園を作ったり、大きな公園であれば、部分的に柵を作ってペットが遊べるようにしたりすることがよいのではと思えます。そうすればもっと、ペットというものが一般化されます。ですので、そのようなものが必要だと思えます。

それから、あとは漫然と砂場があるだけというようなものですが、特徴がないわけです。そういうことで、季節の花や七草のものだとか、道でつながっていて訪れるようにできるようなものだとか、森林公園だとか、これからの公園は特徴のある、漫然ではない公園でなくては駄目だろうと、そのように思えます。

それから今、新宿は川と、外堀公園から御苑や外苑まで緑があり、少し整備すればベルトが繋がります。ですから、このあたりのところにもっと幅広い緑を作って、新宿区は緑の公園の中にあるのだと、いうようにできればと思えます。これは大変欲の深い願望であるかもし

れません。それから、街路樹について、今、新宿の駅周辺が東口も西口も南口も全てそうですが、駅周辺が大変殺伐とした街になっています。ビルだけはありますけど、皆さんが気を休めるようなものは何もあります。建物は整備されていますが、街全体が緑のベルトになっていません。そういうところはきちんと全体で、緑のある街・地域に変わっていけば、大変良いのではないかと思います。それから街路樹ですが、これは木の種類を決めて、例えばこの花の咲いている時期にこの花の木を伝えていけば、どこそこに着きますというように、植物にもっと親しみが持てるようにしては良いのではないかと思います。植え込みの花に関しては、新宿区の花つつじですが、これについてはあちらこちらで整備が行なわれていますが、花よりも植え込みを整備することに重点が置かれていまして、時期外れに切られてしまっています。木や花の種類に関しても考えていくことが、今後の課題になるのではないかと思います。また、手入れのための水道水につきましては、文京区側にありまして、新宿区側も今後は歩道の植え込みなどに、ぜひそのようなものを作って、せっかく植えた植物がきちんと生きていけるように整備することが必要であると思います。それから歩道が最近商店街などは、ブロックで敷くことがはやっていますが、そういうものをもっと良い材料にしてもらいたいです。生垣につきましては、防災の問題と絡んで、緑を作るといことで今、区では助成金が出ているそうです。壁面緑化については、神田川と妙正寺川の主なところは壁がコンクリートなのでこれについても考えていきたいです。緑があり、いつでも水に親しめるように。屋上緑化につきましては、区の条例等で義務付けて、税の緩和・補助金など、できるところについてはなるべく屋上緑化をできるようにするという事です。あとは、川の整備、遊歩道、それからサイクリングロード、また、玉川上水が将来大木戸までくるといことなので、その際に新宿御苑と一体化した親水公園になって欲しいということです。桜の種類に関しましてですが、現在ソメイヨシノが主ですけれども、これにつきましても、いろいろな種類の桜がありますし、咲く時期も違いますので、もっと立体的なものになるようにしてもらいたいです。

外堀公園については、千代田区と半々ですけれども、水質改善をしてもらいたい。また、新宿区は道路の拡張整備がありますが、歩道は安心して歩けるような場所ではありません。区内を利用する人と企業が新宿区を良くするという目的で、一口いくらか資金を作って、自分たちで土地を買い、公園をつくったり、花の道を作ったり、自分たちで緑を増やしていこうという、そういう制度を立ち上げていきたいというものがあります。それから、学校の統廃合による廃校や大きな会社の社宅などが生み出されているそうです。たとえば学校については、今の敷地そのままではなくて、土地を大きくして、周りに木を植えてしまって、森の中に林の中に学校があるというような、まるで公園ができたような、そのような形の学校ができたらよいと思っています。ちょっとおしゃべりすぎました。

◎：はい、ありがとうございました。まとめは書いてありますので、申し訳ありませんが、コンパクトをお願いします。それでは、環境教育学習班の方、お願いします。

●：検討の目的とねらいということで、今日は全員で6月18日から始まった区民会議の復習・おさらいをしてみました。いままでここで出た意見などを丁寧に洗って行って、そして区分けしていこうと思ったのですが、事前に私ども作っていたものの、やはり統一見解ではないのかということで、今回のまとめにさせていただきました。それで強調しておきたいのは、

新宿みどりの街散策・見学、市民参加システムの構築というところで、新しく箱物を造るというわけではなくて、今あるものを利用して行政と区民が一体となって考える、そこにはやはりリサイクルのことを考えたり、自動車のことを考えたり、ということの問題提起するところであればよいと思います。そこに商店や企業が参加して公共施設の利用も考えた上で教育を促していきたいです。このねらいは、ひとりの力持ちが行うのではなくて、いろいろな方にゴミや環境について関心を持っていただくために、広げていこうというものです。以上です。

◎：ありがとうございます。では次にエコエコ班、お願いします。

●：エコエコ班はまとめ方としては、ハート・ソフト・ハードという感じで、先程お話がありました、反対の方向からまとめております。エコエコということで、環境と経済の好循環に必要な考えでハートを考えまして、旧来の商店街や企業の自主的な取り組みがなされているということで、それを新宿区全体で評価できるようなバックアップする取り組みがあればよいという話がありました。それからもう一つ、街の特徴として、外来者が多い歓楽街等々に関しては、こういった自主的な取り組みよりも、もう少し誘導するものを考えていったらよいであろう、なんらかのインセンティブのある仕組みを考えていきたい、そういった市民の尺度で考える仕組みが欲しいということです。それは単純で分かりやすく、楽しい、誰もがメリットのある仕組みにできたらよいという話でした。それで、具体的にソフトのところでは、それぞれの環境問題に対して資源回収や緑化やレジ袋や地域清掃だとか、個別には経済性のないような取り組みというものがあるかとは思いますが、そうしたものを統合的な取り組みにしていくことで、何らかの経済性を捻出していけないかということです。それとその仕組みとして、エコマネーやグリーン電力証書のような新しい価値が回るシステムを新宿区で提案できればよいということでした。また、それが、市民が環境配慮を行なうきっかけとなるような、呼び水になるような基金があれば、ESCO 事業のような街での取り組みに弾みがかかるのではないかと話をしました。ハードに関しましては、私たちの班ではあまり発想しませんでした、具体的に言えば、環境に関する取り組みの情報を一括するインフラが必要であると、そういうことによっていろいろなソフトの問題であったり、ハートの問題であったりなどが、回るようなハードが用意できれば、皆さんが取り組みやすくなるのでは、という話が出ていました。具体的には、エコマネーという話になってしまいましたが、皆さんのいろいろな取り組みの話を聞きながら、これらの具体的なことを考えていければと思っております。

◎：はい、どうもありがとうございます。環境と美化班、お願いします。

●：我々のほうでは、一応項目が多いので、項目別に分けて考えてみました。それで、我々では主にソフト・ハートの面が主流でして、①の住環境についてはハードの面が含まれておまして、道路等については、ソフト及び、使用ということでハートのほうも必要であろうと、それから③に関してはほとんどハートの問題で、根源でみなさんの意識が高まっていけばいいのではないかと思います。このあたりをハートの発生源として考えていけばよいかなと思います。④につきましては、ソフトです。そして、⑤と⑥についてはソフトとハードということです。最後の外国人及びホームレスと一緒にしてしまって失礼なことなのですが、これについては2つを分けてください。以上です。

◎：はい、どうもありがとうございました。では、残りは温暖化班、お願いします。

●：はい、温暖化班は、20年後、2025年の新宿の在るべき姿、新宿の未来像ということで、温暖化の観点から整理しました。まずは、ハード的な状態です。例えば、省エネ機器の普及、クリーン自動車の普及、または自動車に乗らなくてもいい交通環境の整備、あるいはクリーン輸送が普及しているということで、このような状態になっているということです。そして一方は、クリーンエネルギー割合が増加している、またはオンサイト型エネルギーのシステムが導入されているということで、エネルギーの面でこのような供給状態になっていることが望ましいということで、整理いたしました。さてソフトの方ですけれども、仕組みとか経済的な有効策であるとか、規制であるとかで、どういう状態になっていけばよいかという話ですが、一つは、区民と事業者とが一体となって、新宿版エコアクションに取り組んで、くらしや経済が有利になる、回る仕組みができていく状態が望ましい。新宿だけではなく、様々な温暖化に関する取り組みが23区の政策連携が整って、それによって大きな力になっていることが望ましい。エコ生活自体が行うと楽しくて、得する仕組みができていくことが望ましい。それから、温暖化防止と地域通貨とのつながりができる仕組みが望ましいということがあります。また、区内の住宅地、商業地、オフィス街など、その地域の特徴に根付いた、地域ごとの温暖化の仕組みができていくことが、想像的な状態として整理いたしました。次に、ハートの問題です。主体性とか取り組みの姿勢とかですが、子供のときから、このような温暖化防止の学習を受けている、または温暖化への対処があたりまえの意識が形成されている、また、CO2の削減生活が特別なことではなく、ごく当たり前の生活条件である状態の感覚ができていく、または人や国を温暖化という観点から配慮できる形成がされているということが、ハード的な状態として望ましいこととして整理いたしました。以上です。

◎：ありがとうございました。以上で、6つの班の発表が終わりました。内容は紙に書いてあるとおりですので、これをもとにこの後の班長会議で、第4分科会としてまとめられるようなものにしていきたいと思えます。この成果は、次回の会議でお示しして、また、皆さんとディスカッションしていきたいと思えます。では、中間のWGの報告について、宜しくお願いいたします。

(3) 中間発表会第2回WGの報告について (その2)

●：それでは、お手元に資料が配られたと思えますので、先ほどの補足をさせていただきたいと思えます。行なったことは先ほども申し上げましたけれども、目的についてはWGの方で決まりました。それから先ほど2番目の第1部・第2部の簡単な説明をさせていただきましたが、当日の進行のイメージについて、下に表がありますが、9:00に我々スタッフが集合して、12:30まで、あいさつ・発表・講評ということで、その後30分くらいで、会場のレイアウト変更・昼食タイムということで、各自対応ということになっています。それからブースに分かれて、13:30から交流会となり、これは分科会同士、他の区民の皆さんとの意見交換と交流の場なのですが、各分科会ごとですから、私たち第4分科会は第4分科会のブースをこれから検討しますけれども、どこかに設置して、そこで我々の誰かが対応するという事です。時間につきましては、資料には1~2時間程度とかかかっていますが、6つの分科会がブースを作る中で、終わりは統一せずに来場者が居なくなったところは、そこで解散ということです。

最後の会の閉めというものは行いませんので、流れ解散のようなものになります。それから資料の裏の方にまいりまして、3の中間発表に対して意見等をいただく方法は、ここに書いてありますのでご覧ください。先ほど役割に関しましてご説明いたしましたが、次のページに「中間発表に向けての準備、役割分担の参考資料」と書いてありますが、大分類というところは、項目の前の大きな分類となっていて、その右側が項目で、その次が内容、その次がワーキンググループと区のところですので、どちらがやるかという区分を書いています。例えば、始めの全体運営というところで、項目は全体責任者、内容は総括とありますが、WGのところに○が書いてあります。○のWGがメインで、△のサブが区という形で、全体で運営をやっていこうということですので、お願いしたいと思います。それから少々お時間をいただきたいのですが、次のページにいきまして、真ん中あたりの一番左のところに、資料関係という枠がございますけれども、ここは当日、お見えになる来場者に渡す資料が書いてありますが、2月10日までに500部資料をつくらなくてはならないということで、今一番大きなことになっているのではないかと思います。当然のことながら、第4分科会も班をまとめた形で、この日までに作らなくてははいけません。量ですけれども、原稿用紙A4で40ページまでと書いてありますが、印刷の関係ですとか、あまり多くてもどうかというところがあります。紙の裏側も使いまして2ページ、つまり両面使って20ページということで、これを各分科会が作り上げるということになっております。そのようなことで、頑張っていかななくてははいけないと思います。そして、あとはここに書いてありますが、このように決めましたので、次回の第3回のWGでは、これらの細かいところをどの分科会がやっていくのかなどを決めると思いますので、宜しくお願いいたします。何か質問ありますか。

●：場所はどこでやるのですか。

●：牛込笹筒地域センターです。他にありますか。これで説明を終わります。

○：ありがとうございました。

3、事務局からの連絡事項

○：それでは、事務局からの連絡事項ということで、次回以降の会議日程について、来年の話になりますが、

第14回 1月13日（金） 18：30～20：30 区役所第1分庁舎 7階研修室

第15回 1月27日（金） 18：30～20：30 区役所第1分庁舎 7階研修室

そのあと、2月にも1回、ないし2回行いますけれども、2月19日が中間発表日になっております。2月19日までには、残すところ1月に2回と、2月の1回ないし2回、あわせて3、4回が限度になっておりますので、皆さん十分ご承知かと思っておりますけれども、忙しい中申し訳ありませんが、まとめの方を宜しくお願いいたします。

4、閉会

それでは、本日これで終わりにいたしますが、何か班の方から、連絡等ありますか。よろしいでしょうか。それでは、今日はこれで終わりにしたいと思います。どうもありがとうございました。この後、班長会議を行ないますので、各班の班長はこの場にお残りください。

<資料>

05.12.23 区民会議議事録～中間発表に向けた各班での整理～

①資源循環班（ゴミ）

- ・ソフト面
 - 拡大生産者責任の徹底
 - 協働のあり方
 - 排出方法
 - 収集（集団回収・拠点回収）
- ・ハード面
 - ストックヤード
 - 拠点の整備
 - 不燃ごみの中継所活用
- ・ハート面
 - 意識啓発
 - グリーン購入

②緑化班

- ・みどりの豊かな自然と調和した環境のあるまちを達成するために考えられる方法やアイデアは何ですか
 - 水と緑と太陽
- ・公園について
 - 中央公園に源氏物語植物園を作る
 - 中央公園に日本庭園を作る
 - 一般の公園では、特徴あるものにする。（子供専用、ペット専門、花の公園、森林公園）
 - 公園の中に新宿区があるように緑の巾の広いベルトを作る
- ・街路樹について
 - 新宿駅周辺を整備して緑のある地域にする
 - 道路によって木の種類を決めて分かりやすくする
 - 植え込みに花の道を作って季節感を出す
 - 街路樹用の専用水道を作る
 - 歩道は雨水が浸透する材料を使う
- ・生垣について
 - コンクリートの塀は緑の塀（生け垣）やネットフェンスとする
- ・壁面緑化について
 - 神田川妙正寺川のコンクリート壁について考える
- ・屋上緑化について

区の条例などで義務付けて税の緩和補助金等の対策が必要

- ・神田川、妙正寺川の整備について

遊歩道で安心してゆっくり散策出来る道

サイクリングロードの設置

親水公園を是非ほしい。(小学生以下の子供が遊べるジャブジャブ公園)

将来、玉川上水が大木戸まで開通した時には新宿御苑と一体化した親水公園を必ず作ってほしい

サクラの種類をもっと増やしてほしい

- ・外堀公園について

水質改善してほしい

歩道を整備する

区内を利用する人と企業が「新宿を良くする」為に寄付を集めて財源とし、公園や花の道を作る。区で有効利用できる土地(学校跡地等)について、森林公園等を作る。(森の中、林の中に学校の校舎がある)

③環境教育・学習班

- ・目的(ハート)

みどりや環境に対する市民の意識を向上させみんなが楽しんで歩きたくなるような街、新宿をつくりあげること

- ・具体的な提言方策のねらい(ハード・ソフト)

より多くの人に関心を持ってもらい大勢の市民に参加してもらう

楽しみながら実行できる方策をすすめることにより体験と感動を共有してもらいたい
緑、環境に対する理解を深めてもらう

「新宿みどりの街散策・見学市民参加システム構築(区民外の来訪者含む)」

- ・期待するもの(ハード・ソフト)

環境やみどり、自然保護に対するやさしい心の形成

市民のマナー向上、街の美化、ゴミの少ない街

市民相互のふれあいとコミュニケーションのある街

新宿区外からの観光客誘致

「多数に参加してもらうことで小さな理解活動を蓄積しきれいなまち、新宿をつくる」

④eco eco 班

- ・ハート

旧来の商店街や企業の自主的な取り組みをバックアップしたい

外来の多い歓楽街等には、誘導の手法を考えたい

市民の尺度で考える仕組みがほしい

→単純でわかりやすく、たのしい・誰にでもメリットがある

・ソフト

環境問題に対して総合的にとりくむシステム

エコマネーやグリーン電力証書のような新しい価値がまわるシステム

市民が環境配慮を行うきっかけになる基金

・ハード

総合的に取り組み、市民に環境情報を提供するシステムのインフラ整備

→エコマネー（地域環境通貨）の導入

⑤まち美化・暮らしやすい住環境チーム

「20年後の新宿区の未来像」それに向けての方法・アイデア

「人間本位のまちづくり」

21世紀は経済効率重視の社会から環境重視の社会だ。

区民として暮らしやすい、区民としてほこりの持てるまちづくりをめざす。

又、そこから新しい夢が描けるまちにしたい。

i) 住環境について（ハード）

これ以上の高層ビルは住環境を配慮した上で、住民との話し合いによる

新宿駅周辺を緑の回廊に

ii) 道路について（ソフト）

幹線道路、生活道路：行政の保全による車の流入制限、自転車レーンの設立

→大気汚染の解消

露地道路：生活の一部、子供の遊び場、年寄る場所・話し合いの場

植木・風通し一年寄と猫のいる風景

iii) まち美化・保全について（ほとんどハード）

自分の家・店・会社の前を清掃→地域を地域住民の手できれいに

→地域を地域住民の手できれいに

→環境管理の住民参加型の社会へ

→新宿全体の意識の底上げ

→モラル・マナーの工場

長期的・継続的にやる

ブロック塀、自販機、24hコンビニの問題

iv) 予算について（ソフト）

住民が支払ったものは住民に。会計の徹底した情報開示。

環境都市宣言をしたわりにはおそまつ

v) 文化都市としての新宿（ソフト・ハード）

歴史の重視・神社等の祭り→まちとしてのアイデンティティー

東口・歌舞伎町の文化的な見直し

vi) あれもあり・これもあるまち（ソフト・ハード）
外国人・ホームレス問題などを異質のものとして考えない、雑多な文化が共存できる町
→新しい文化へ

⑥温暖化班

・ハード

省エネ機器が普及

エネルギー供給はクリーンエネルギーの割合が増加

オンサイト型エネルギーシステムが導入

クリーン自動車の普及

自動車に乗らなくてもよい、交通環境

クリーン輸送

・ソフト

（区と）区民と業者が一体となって新宿版エコアクションを取り組んで、くらしや経済が便利になる。まわる仕組みができています。

新宿区をはじめとし、23区の政策連携がとれている。

エコ生活が楽しい。得をすると実感できる仕組みができています。

温暖化防止と地域通貨

区内の住宅地・商業地・オフィス街に根付いた地域ごとの温暖化の仕組みができています。

・ハート

子供のときから、温暖化防止の学習を受けている

温暖化対処があたりまえ、みんなが認識。楽しみながら。

他人、他国を思いやる気持ち

CO2削減生活が特別なことではなく、一般的である。